

里村幹夫先生をおくる・略歴・業績目録

メタデータ	言語: ja 出版者: 静岡大学地球科学教室 公開日: 2013-08-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 塚越, 哲 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00007425



里村幹夫

M. Satomura

里村幹夫先生をおくる

理学部地球科学科教授・里村幹夫先生は、平成25年3月をもって定年を迎えられました。里村先生は、昭和23年2月10日に大阪府でお生まれになり、昭和45年3月京都大学理学部を卒業、同47年3月に京都大学大学院理学研究科修士課程を修了、同51年3月に同大学院理学系研究科博士課程を中退し、同60年7月京都大学より理学博士を授与されました。これに先立ち、昭和54年4月静岡大学教養部に助教授として赴任され、平成6年4月に教授に昇任され、また平成7年10月には教養部改組に伴って理学部に転任されました。この度の定年退職を迎えられるまで地震学・測地学・地震防災の研究・教育に努められました。

里村先生は幼少のころから、地元から見える京都大学の天文台にあこがれて天文学に強い興味をお持ちでした。しかし先生の高校時代から5年間にもわたって頻発した松代群発地震によって、自らの手で地震の謎に挑戦してみたい、とお考えになったのをきっかけに、京都大学で地球物理学を専攻するに至ったと聞き及んでおります。

里村先生の大学人としてのキャリアの半分は静岡大学の教養部で過ごされたこととなりますが、この時代に里村先生の幅広いご研究の側面が醸成されたように思われます。この時代の先生は、重力調査による地殻内部構造の検出や、東海・近畿地方のプレート運動に伴う重力変化の検出など、重力の精密測定を精力的に進めていらっしゃいました。またその傍ら地学研究会の顧問を務められ、学生たちを相手に地球物理学や天文学を中心とした学問を広く勉強されていったのです。この里村先生が育てられた地学研究会は本学の学部垣根を越えて、多くの地学愛好者を輩出し、現在も本学で最も活発なサークルの一つとなっております。里村先生は理学部に転任される頃には、まだ現在のように普及していなかったGPSを使った測地学を開始され、またその後にはGPSを使った気象学にも着手されます。そしてここ数年ほどは地震防災にも目を向けられ、その積極的な活動はマスコミにも何度も取り上げられました。里村先生がこのような大きなテーマを渡り歩かれたその背景には、おそらく教養部時代のおおらかさ、自由闊達さがバックボーンになっていると思われれます。

同僚の一人は里村先生の次のような言葉を聞いております、「僕は一つの事に集中し尽くしてしまいたくはない、世の中にあるいろんな面白い事をとにかく知りたい」と。そしてまた、GPS等から得られた夥しいデータをにらみ、多くのノイズの中から微小ながら有益な信号をとらえることについて、類い希な能力をお持ちだったそうです。おそらく学生教育にもこの里村先生の能力はいかんとなく発揮されたのではないのでしょうか。里村研究室は毎年学科内で常に1, 2を争う人気研究室でした。そこでは個々の学生がもつ幅広い特質を把握され、また学生のもつ潜在的な能力を見逃すことなく丹念に拾い上げられて来られたこととお察しします。

常に柔和で周囲を暖かくする里村幹夫先生は、時にピリピリとした雰囲気になることもありがちな大学にあってはとても貴重な存在でした。里村先生のこのたびのご退職はまことに残念であります。今後のますますのご活躍とご健康を祈願して、おくる言葉とさせていただきます。

2013年3月

理学部地球科学科
学科長 塚越 哲

里村幹夫先生の略歴

学 歴

- 昭和45年3月 京都大学理学部地球物理学科卒業
- 45年4月 京都大学大学院理学研究科修士課程地球物理学専攻入学
- 47年3月 京都大学大学院理学研究科修士課程地球物理学専攻修了
- 47年4月 京都大学大学院理学研究科博士課程地球物理学専攻入学
- 50年3月 京都大学大学院理学研究科博士課程地球物理学専攻単位修得
- 51年3月 京都大学大学院理学研究科博士課程地球物理学専攻退学

職 歴

- 昭和51年4月 日本学術振興会奨励研究員
- 52年4月 京都大学理学部研修員
- 54年4月 静岡大学教養部助教授
- 平成6年4月 静岡大学教養部教授
- 7年10月 静岡大学理学部教授
- 20年7月 静岡大学防災総合センター長併任（平成22年3月まで）
- 25年3月 定年退職

学 位

- 理学博士（京都大学） 昭和60年7月23日
- 論文名 Precise relative measurements of gravity in Kinki District, Japan

表 彰

- 昭和47年12月 第10回松永研究助成金受賞（財松永記念科学振興財団）
「地殻変動に関連する重力変化の研究」

学内における活動

- 平成7年4月 防災委員会地震対策部会委員長（平成12年3月まで）
- 11年4月 部内学生委員長（平成12年3月まで）
- 13年4月 地震防災対策ワーキング委員長（平成14年4月まで）
- 16年4月 部内経理委員長（平成17年3月まで）
- 17年4月 防災・ボランティアセンター長（平成20年7月まで）
- 20年1月 理学部地球科学科長（平成20年3月まで）
- 20年4月 部内入試委員長（平成21年3月まで）

非常勤講師

- 昭和62年4月 静岡県立大学非常勤講師（地学，平成7年3月まで）
平成3年6月 高知大学理学部非常勤講師（物理学科，地球物理学特論Ⅱ，平成3年10月まで）
13年4月 富山大学理学部非常勤講師（地球科学科，宇宙測地学，平成13年9月まで）
21年4月 放送大学非常勤講師（静岡学習センター面接授業担当，地震の科学，平成24年9月まで）

所属学会

- 昭和45年5月 日本測地学会（現在に至る）
46年4月 地震学会（平成5年4月に日本地震学会に会名変更，現在に至る）
49年11月 日本火山学会（現在に至る）
54年4月 静岡県地学会（現在に至る）
平成2年7月 米国地球物理学連合（American Geophysical Union）会員（現在に至る）

学会・社会における活動

- 昭和60年6月 静岡県地学会運営委員（平成元年6月まで）
62年4月 日本測地学会委員（昭和63年5月に日本測地学会評議員に役職名変更，～平成8年3月，平成9年4月～11年3月，平成12年4月～14年3月，平成15年4月～17年3月，平成18年4月～20年3月，平成21年4月～23年3月，平成24年4月～26年5月）
平成元年9月 科学技術庁国立防災科学技術センター客員研究官（平成2年3月まで）
2年8月 「レーザー測距儀評価検討」委員会委員（財地震予知総合研究振興会，平成2年12月まで）
2年9月 科学技術庁防災科学技術研究所客員研究官（平成3年3月まで，平成4年1月～3月）
5年6月 静岡県地震防災センター運営協議会委員（平成6年6月まで）
5年12月 第8回地殻変動国際シンポジウム（神戸市）実行委員会委員
7年9月 1995年度日本地震学会秋季大会（静岡市）実行委員長
8年9月 重力・ジオイドおよび海洋測地学国際シンポジウム1996（東京都）組織委員会委員
9年8月 「GPS気象学分科会」委員（財日本気象協会，平成14年3月まで）
9年8月 日本学術会議測地学研究連絡委員会重力・ジオイド小委員会委員（平成15年9月まで）
9年10月 琵琶遺存湖の第四紀古気候，地殻変形国際研究集会（京都市）組織委員会委員
10年4月 財団法人静岡県防災情報研究所評議員（平成11年3月まで）
11年4月 財団法人静岡総合研究機構外部研究員（平成15年3月まで）
11年10月 GPS国際シンポジウム1999（つくば市）組織委員
12年4月 地球惑星科学関連学会合同大会連絡会委員（日本測地学会選出）（平成15年3月まで）
12年6月 日本測地学会広報委員長（現在に至る）
12年8月 第14回地球潮汐国際シンポジウム（水沢市）組織委員
12年10月 日本災害情報学会会員（平成22年3月まで）
12年10月 日本測地学会第94回講演会（静岡市）実行委員長
13年1月 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員（平成14年12月まで）
13年4月 独立行政法人大学入試センター教科科目第一委員会委員（地学，平成15年3月まで）
15年4月 総合地球環境学研究所共同研究員（平成19年3月まで）
15年8月 日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員（平成17年7月まで）

- 15年 8月 日本学術会議地球物理学研究連絡委員会測地分科会重力・ジオイド小委員会委員（平成17年7月まで）
- 16年 5月 国土交通省国土地理院研究評価委員会委員（現在に至る）
- 16年12月 日仏自然災害ワークショップGeoHazards 2004（静岡市）実行委員
- 17年 3月 日本測量協会建設技術証明事業の「GNSS測量システム」技術審査証明委員会委員（平成17年5月まで）
- 19年 4月 日本地球惑星科学連合教育問題検討委員（現在に至る）
- 19年 6月 NPO法人災害・医療・町づくり理事（現在に至る）
- 20年 3月 静岡県総合計画審議会委員（現在に至る）
- 20年 5月 NPO法人人形劇プロジェクト「稲むらの火」理事（現在に至る）
- 20年 8月 静岡県総合計画審議会県民生活部会委員（平成22年3月まで）
- 21年 4月 第1回「震災対策技術展／自然災害対策技術展」静岡実行委員長
- 21年 7月 静岡県建設部富士山富士宮口落石対策検討委員会委員長（平成22年3月まで）
- 22年 4月 国土交通省国土地理院研究評価委員会測地分科会主査（現在に至る）
- 23年 3月 技術士第二次試験試験委員（応用理学部門，地球物理及び地球化学）（平成25年2月まで）
- 23年10月 2011年度日本地震学会秋季大会（静岡市）実行委員長
- 25年 2月 神奈川県温泉地学研究所外部評価委員会委員

業績目録

著書

- Takemura K., Kitaoka K., Horie S., Satomura M. Yokoyama I. (1991), Die Untergrundstruktur und quartären Sedimente im Tokusa-Becken, Präfektur Yamaguchi, unter Berücksichtigung eines sogenannten 100-m-Bohrkerns. In: Horie S. (ed.) *Die Geschichte des Biwa-Sees in Japan*, Universitätsverlag Wagner, Innsbruck, 233-242.
- 土 隆一・小山真人・里村幹夫・平井泰世・渡邊定元・高橋真弓・高橋節蔵・今泉忠明・若林淳之・渡井正二・伊藤昌光・松本繁樹・九津見生哲 (2002), 富士山の測地・地球物理学的側面. 富士山の自然と社会 (国土交通省中部地方整備極富士砂防工事事務所), 静岡県富士市, 27-32.
- 仲江川敏之・加藤照之・里村幹夫 (2002), 第6章 可降水量からみたタイ国内の季節進行と日変化. 気象研究ノート第202号, 東南アジアのモンスーン気象学 (松本 淳編), 日本気象学会, 東京, 131-142.
- 里村幹夫 (2002), 重力変化 (上下変動, 物質移動の観測) 第1節, 相対重力測定. 地球環境調査計測事典 第1巻, 陸域編① (竹内 均監修), (株)フジ・テクノシステム, 東京, 533-535.
- 日本測地学会監修, 大久保修平編, 里村幹夫・日置幸介・大久保修平・飛田幹男著 (2004), 朝日選書752, 地球が丸いってほんとうですか? 測地学者に50の質問. 朝日新聞社, 東京, 277p.
- 日本測地学編 (2004), 測地学: 日本測地学会創立50周年記念CD-ROMテキスト. 日本測地学会, 東京 (第2部基礎編を田部井隆雄・里村幹夫・福田洋一が, 第3部応用編, 地球の形今昔を里村幹夫が分担執筆).
- 里村幹夫編, 里村幹夫・林 愛明・小山真人・長尾年恭・岩田孝仁・外山知徳・土屋 智・山本義彦・笠原英男・清水康子・池谷直樹・古橋裕子著 (2008), 地震防災, 学術図書出版, 東京, 155p.

論文

- Nakagawa I., Satomura M., Abe E., Katsura K. & Nishimura S. (1970), On the new gravity value at the National Fundamental Station of Gravity in Japan. *Journal of the Geodetic Society of Japan*, **16**, 9-15.
- 中川一郎・里村幹夫 (1971), 等重力点重力測量およびLaCoste & Romberg 重力計の振動実験について. 測地学会誌, **17**, 49-60.
- 中川一郎・里村幹夫 (1972), 等重力点における重力測定について (第1報). 測地学会誌, **18**, 17-22.
- 中川一郎・里村幹夫・一戸時雄・住友則彦 (1972), 琵琶湖周辺における重力の経年変化について. 測地学会誌, **18**, 23-29.
- 里村幹夫 (1972), 柳ヶ瀬断層付近における重力測量. 測地学会誌, **18**, 40-42.
- Satomura M. & Nakagawa I. (1972), Secular change of gravity near Lake Biwa-ko. *Contributions of the Geophysical Institute, Kyoto University*, **12**, 101-115.
- 中川一郎・里村幹夫 (1973), 等重力点における重力測定について (第2報). 測地学会誌, **19**, 42-49.
- 中川一郎・里村幹夫・瀬戸孝夫・長谷川康正・塚原弘一・萩原幸男・田島広一・井筒屋貞勝・村田一郎・中井新二・中込 理・小泉金一郎・藤本博巳・宇田川雄司・石原文実 (1973), LaCoste & Romberg 重力計 (G型) の特性について (第1報). 測地学会誌, **19**, 100-112.
- 中川一郎・里村幹夫 (1974), 等重力点における重力測定について (第3報). 測地学会誌, **20**, 107-110.
- 中川一郎・里村幹夫・中井新二・佐藤範雄・田島広一・萩原幸男・井筒屋貞勝・瀬戸孝夫・塚原弘一・太島

- 和雄・大川史郎・小泉金一郎・藤本博巳・須田芳朗・三品正明（1974），LaCoste & Romberg 重力計（G型）の特性について（第2報）。測地学会誌，**20**，133-142.
- 久保寺 章・里村幹夫・住友則彦（1974），阿蘇火山における重力値の繰返し測定。火山，第2集，**19**，123-125.
- Nakagawa I., Satomura M., Ozeki M. & Tsukamoto H. (1975), Tidal change of gravity by means of an Askania gravimeter at Kyoto, Japan. *Journal of the Geodetic Society of Japan*, **21**, 6-15.
- 村上寛史・里村幹夫・竹内文朗・後藤典俊・吉川賢一（1975），京都盆地南部における重力探査。物理探鉱，**28**，268-276.
- Satomura M. & Nakagawa I. (1975), Gravity survey near the Yanagase Active Fault. *Paleolimnology of Lake Biwa and the Japanese Pleistocene*, **3**, 175-180.
- Nakagawa I. & Satomura M. (1975), Gravity measurements near Lake Biwa-ko. *Paleolimnology of Lake Biwa and the Japanese Pleistocene*, **3**, 181-193.
- 久保寺 章・三浪俊夫・里村幹夫・井上光吉（1976），中部九州地区における重力測定値の収集と精密重力異常図の作成。自然災害資料解析，**3**，45-53.
- 萩原幸男・田島広一・井筒屋貞勝・里村幹夫（1976），伊豆半島における重力変化。測地学会誌，**22**，17-22.
- 大川史郎・横山 泉・里村幹夫・中川一郎（1976），北海道東部における重力変化（続報）。測地学会誌，**22**，178-187.
- Satomura M. (1976), Gravity survey on and around Lake Yogo-ko (A preliminary report). *Paleolimnology of Lake Biwa and the Japanese Pleistocene*, **4**, 144-148.
- 中川一郎・里村幹夫・福田洋一・中井新二・瀬戸孝夫・太島和雄・井内 登・萩原幸男・田島広一・井筒屋貞勝・柳沢道夫・花田英夫・友田好文・藤本博巳・古田俊夫・大川史郎（1977），ラコスト重力計（G型）の定数検定。測地学会誌，**23**，63-73.
- Nakagawa I., Tanaka Y., Satomura M., Kato M. & Oike K. (1977), International connection of gravity between Japan and South America. *Journal of the Geodetic Society of Japan*, **23**, 82-87.
- Nakagawa I. & Satomura M. (1977), Gravity change observed near Lake Biwa, Japan. *Bulletin Geodesique*, **51**, 213-217.
- Nakagawa I., Satomura M. & Seto T. (1978), An accuracy of scale constant of LaCoste & Romberg gravimeters (model G) revealed by international and domestic gravimetric connections. *Bulletin d'Information, Bureau Gravimetrique International*, **42**, I9-I30.
- 久保寺 章・中川一郎・福田洋一・里村幹夫・田島広一・大島弘光・石原和弘（1978），阿蘇火山周辺における重力の精密測定。阿蘇火山の集中総合観測（第1回1977）報告，23-30.
- 里村幹夫（1980）， γ 線測定による駿豆断層の調査。静岡大学教養部研究報告（自然科学篇），**15**，51-58.
- 遠藤 猛・村田一郎・田島広一・柳沢道夫・里村幹夫（1981），静岡大学構内における重力絶対測定。測地学会誌，**27**，85-92.
- Nakagawa I., Satomura M., Fukuda Y., Tsukamoto H. & Nakamura K. (1982), Gravity change observed near Lake Biwa during the period of 1971-1981. *Paleolimnology of Lake Biwa and the Japanese Pleistocene*, **8**, 123-130.
- Nakagawa I., Satomura M., Fukuda Y., Tsukamoto H. & Nakamura K. (1982), Gravity changes observed during the past decade in Kinki District, Japan. In: Nakagawa I., Kasahara J. & Tanaka T. (eds.) *Proceedings of the General Meeting of the International Association of Geodesy (May 7-15, 1982, Tokyo), Special*

Issue of Journal of the Geodetic Society of Japan, 366–374.

- Takeuchi F., Hirano N., Satomura M. & Kono, Y. (1983), Observation of gravity to reveal a buried fault associated with the Fukui earthquake. *Bulletin of the Disaster Prevention Research Institute Kyoto University*, **33**, 147–162.
- 久保寺 章・里村幹夫・福田洋一・塚本博則・植木貞人 (1984), 阿蘇火山周辺における重力の精密測定 (1979年5月及び1981年11月). 阿蘇火山の集中総合観測 (第2回 1981) 報告, 33–38.
- 吉田明夫・岩田孝仁・里村幹夫・志知龍一 (1984), 駿河湾西岸における活構造線 (帯) 存在の可能性. 地震, 第2輯, **37**, 453–464.
- 遠山忠昭・檀原 毅・里村幹夫 (1984), 活断層調査のための γ 線測定方法の再検討. 地震, 第2輯, **37**, 539–547.
- Satomura M., Nakagawa I., Tsukamoto H., Higashi T., Fukuda Y. & Nakamura K. (1986), Secular changes of gravity observed in Kinki District, Japan. *Bulletin d'Information, Bureau Gravimetrique International*, **59**, 215–223.
- Satomura M. (1985), Precise relative measurements of gravity in Kinki District, Japan. *Geoscience Reports of Shizuoka University*, **11**, 1–55.
- 里村幹夫・安間秀明 (1986), 糸魚川–静岡構造線南部地域の重力異常. 静岡大学地球科学研究報告, **12**, 55–74.
- 里村幹夫・檀原 毅・長谷川 靖・遠山忠昭・志知龍一・鮫島輝彦・井野盛夫・岩田孝仁・萩原利明 (1987), 相良および上坂地殻変動観測施設の概要. 静岡大学地球科学研究報告, **13**, 157–164.
- 里村幹夫・大塚謙一・新妻信明 (1987), 駿河トラフ中軸部における精密重力測定ならびにトラフ底と静岡側トラフ斜面の観察. 第3回「しんかい2000」研究シンポジウム (海洋科学技術センター編), 海洋科学技術センター試験研究報告特集号, 15–24.
- Doi K., Tsukamoto H., Satomura M., Nakagawa I., Nakamura K. & Higashi T. (1988), Tidal variations of gravity at Shizuoka, Japan (1) — Comparison of results obtained through simultaneous observations with two gravimeters —. *Journal of the Geodetic Society of Japan*, **34**, 59–70.
- 木股文昭・中村 勝・奥田 隆・宮島力男・山田 守・角野由夫・里村幹夫・佐々木祐治・佐々木嘉三 (1988), 中部地方におけるGPS干渉測位—3衛星運航下における基線決定の再現性—. 地震, 第2輯, **41**, 615–618.
- 小泉岳司・福井敬一・橋本徹夫・干場充之・清野政明・里村幹夫 (1988), 伊豆大島における重力変化—1985年11月から1988年5月—. 火山, 第2集, **33**, 291–303.
- Kimata F., Sumino Y., Nakamura M., Miyajima R., Okuda T., Satomura M., Sasaki Yu & Sasaki Yo. (1989), Repeatable measurements of baseline length by Global Positioning System in central Japan. *Proceedings of the GPS Workshop 1989*, 114–119.
- 岩橋 悟・新妻信明・里村幹夫 (1989), ステップモーターを利用したラコステ重力計による地球潮汐の自動測定. 静岡大学地球科学研究報告, **15**, 25–60.
- Satomura M. (1989), Bouguer gravity anomalies in the South Fossa Magna, central Japan. *Modern Geology*, **14**, 47–67.
- 木股文昭・中村 勝・奥田 隆・宮島力男・角野由夫・里村幹夫・佐々木祐治・佐々木嘉三 (1989), 中部地方におけるGPS干渉測位—4衛星運航下における基線決定の再現性—. 地震, 第2輯, **42**, 517–520.

- Kimata F., Nakamura M., Miyajima R., Okuda T., Sumino Y., Satomura M., Sasaki Yu & Sasaki, Yo. (1990), Repeatable measurements of baseline length by Global Positioning System in central Japan. *Proceedings of the Japanese Symposium on GPS 1989*, 19–23.
- Kimata F., Kawai E., Miura S., Murata I., Okubo S. & Satomura M. (1990), GPS present status in Southwest Asian Area and Sumatra Campaign. *Proceedings of the Japanese Symposium on GPS 1989*, 35–39.
- 里村幹夫・佐々木祐治・白井和平・木股文昭・奥田 隆・矢吹哲一郎, (1990), 静岡県中西部地域のGPS観測. GPS研究会 (GPSシンポジウム1989) 集録, 79–84.
- 村田一郎・笠原 稔・山本明彦・市川隆一・三浦 哲・立花憲司・中尾 茂・仁田交市・藤井陽一郎・長坂健一・金沢敏彦・脇田 宏・矢吹哲一郎・芝崎文一郎・加藤照之・大久保修平・綿田辰吾・川合栄治・石井 紘・松本滋夫・平田安広・里村幹夫・佐々木祐治・白井和平・木股文昭・角野由夫・奥田 隆・宮島力男・中村 勝・中村佳重郎・伊藤 潔・藪田 豊・藤原 智・田中寅夫・平原和朗・細 善信・小泉 誠・田部井隆雄 (1990), 相模湾周辺におけるGPS観測 (概論). 測地学会誌, **36**, 23–36.
- Satomura M., Kobayashi S., Hasegawa Y., Toyama T., Dambara T., Shichi R., Ino M. & Iwata T. (1990), Observation of crustal movements by means of a long baseline water-tube tiltmeter at Sagara, Shizuoka, Japan. *In: Vyskocil P., Reigber C. & Cross P. A. (eds.) Global and Regional Geodynamics*, 329–336, Springer-Verlag, New York.
- Kimata F., Nakamura M., Miyajima R., Okuda T., Sumino Y., Satomura M., Sasaki Yu. & Sasaki Yo. (1990), Repeatable measurements of baseline length by Global Positioning System in central Japan. *In: Boch Y. & Leppard N. (eds.) Global Positioning System, An Overview*, 101–105, Springer-Verlag, New York.
- 木股文昭・角野由夫・宮島力男・奥田 隆・石井 紘・村田一郎・加藤照之・大久保修平・松本滋夫・平田安広・綿田辰吾・三浦 哲・立花憲司・中尾 茂・仁田交市・金沢敏彦・矢吹哲一郎・芝崎文一郎・里村幹夫・佐々木祐治・白井和平・藤井陽一郎・長坂健一・川合栄治・河合晃治, (1990), 相模湾GPS合同集中観測 (1988, 1989) —Trimble 4000SDによる観測と解析—. 測地学会誌, **36**, 155–167.
- 里村幹夫・竹村恵二・堀江正治 (1990), 山口県徳佐盆地の重力探査. 静岡大学地球科学研究報告, **16**, 67–75.
- 木股文昭・白井和平・中村 勝・宮島力男・奥田 隆・角野由夫・藤井 巖・村田一郎・加藤照之・矢吹哲一郎・金沢敏彦・里村幹夫・佐々木祐治・白井和平・藤井陽一郎・長坂健一・佐々木嘉三 (1990), 中部・関東地域の南部におけるGPS干渉測位 (1989–1990). 測地学会誌, **36**, 219–230.
- 竹村恵二・北岡豪一・堀江正治・里村幹夫・横山卓雄 (1991), 山口県徳佐盆地の地下構造と堆積物. 地質学雑誌, **97**, 15–23.
- 木股文昭・中村 勝・宮島力男・奥田 隆・里村幹夫・白井和平・佐々木祐治・佐々木嘉三 (1991), 中部地方におけるGPS干渉測位—5衛星運航下における基線決定の再現性—. 地震, 第2輯, **44**, 1–7.
- 木股文昭・中村 勝・宮島力男・奥田 隆・白井和平・里村幹夫・佐々木祐治・佐々木嘉三, (1991), 東海地域におけるGPS干渉測位—放送暦の評価—. GPS研究会 (GPSシンポジウム1991) 集録, 79–83.
- Usui W., Kimata F., Kawai K. & Satomura M. (1991), Accuracy of GPS measurements analyzed with the broadcast ephemerides. *Proceedings of the Japanese Symposium on GPS 1991*, 84–88.
- 仙石 新・河合晃治・佐藤 勲・福島登志夫・木股文昭・里村幹夫・白井和平・工藤君明, (1991), 下里—沖縄基線におけるGPSの基線決定確度について—SLRとの比較—. GPS研究会 (GPSシンポジウム1991) 集録, 117–122.

- 里村幹夫・白井和平・佐々木祐治・大場英司・木股文昭・大見士朗・関口渉次・島田誠一・矢吹哲一朗・加藤照之・村田一郎 (1991), 駿河湾周辺のGPS測量. GPS研究会 (GPSシンポジウム1991) 集録, 179-183.
- 木股文昭・石井 紘・村田一郎・加藤照之・三浦 哲・矢吹哲一朗・金沢敏彦・里村幹夫・白井和平・藤井陽一郎 (1991), 相模湾合同GPS観測による地殻変動の観測 (1988年12月-1990年12月, 序報). GPS研究会 (GPSシンポジウム1991) 集録, 211-215.
- 里村幹夫・小林茂樹・伊藤忠士・白井和平 (1991), 相良における傾斜計連続観測結果とその周辺の広域傾斜変化との関係. 静岡大学地球科学研究報告, **17**, 149-159.
- Sekiguchi S., Hirahara K., Tsuji H., Sengoku A., Watada S., Satomura M. & Shimada S. (1991), Simultaneous measurements of site locations by GPS interferometers referred to VLBI and SLR sites in Japan. *Journal of the Geodetic Society of Japan*, **37**, 175-186.
- Kimata F., Satomura M., Usui W. & Sasaki Y. (1991), Preliminary results of crustal motion monitoring by GPS in the southern part of central Japan (March 1989-March 1991). *Journal of Physics of the Earth*, **39**, 649-659.
- 木股文昭・中村 勝・宮島力男・奥田 隆・里村幹夫・白井和平・佐々木嘉三 (1992), 中部地方南部におけるGPS地殻変動観測 (1989-1991). 月刊地球, **14**, 384-388.
- Kimata F., Satomura M. & Sasaki Y. (1992), GPS measurements in the Tokai region, the southern part of central Japan (1989-1991). *Proceedings of the 6th International Geodetic Symposium on Satellite Positioning*, **2**, 927-934.
- Satomura M., Shindo T., Suzuki H., Imanishi M., Kimata F., Kato T., Murata I., Ohba H., Kudo K., Usui W. & Masunaga M. (1993), Crustal deformation measurements with GPS around Suruga Bay, central Japan. *Proceedings of the Japanese Symposium on GPS 1993*, 17-22.
- 木股文昭・里村幹夫・佐々木嘉三・中村 勝・宮島力男・奥田 隆 (1993), GPSによるプレート境界における地殻変動の観測—八丈・東海連日観測から1年—. GPS研究会 (GPSシンポジウム1993) 集録, 23-26.
- Kimata F., Satomura M. & Sasaki Y. (1993), GPS measurements in the Tokai region and Izu Hachijo Island (March 1989-June 1992). *Journal of the Geodetic Society of Japan*, **39**, 135-150.
- 三尾有年・里村幹夫 (1993), 静岡県中西部における重力異常と地震災害の関係. 静岡大学地球科学研究報告, **19**, 45-59.
- 木股文昭・中村 勝・宮島力男・奥田 隆・里村幹夫・佐々木嘉三 (1993), GPSによるユーラシア・フィリピン海プレート境界域における地殻変動の観測. 地震, 第2輯, **46**, 309-311.
- 里村幹夫 (1994), なぜ地殻変動研究者に若手が少ないのか? 月刊地球, **16**, 358-361.
- 鈴木 洋・里村幹夫・益永雅博 (1994), GPS/Leveling法による赤石山脈周辺のジオイド高の決定. 静岡大学地球科学研究報告, **21**, 29-36.
- Satomura M., Kobayashi S., Shichi R., Ito T., Nakano S. & Iizuka S. (1994), Relation between local ground tilting observed with a water-tube tiltmeter and regional crustal movements in the Tokai district, central Japan. *Proceedings of the 8th International Symposium on Recent Crustal Movements (CRCM'93), Special Issue of Journal of the Geodetic Society of Japan*, 15-18.
- Nakano S., Satomura M., Tamura Y. & Nakao S. (1994), Tidal analyses of tilting data observed by means of water-tube tiltmeters at Sagara and Kamisaka, central Japan. *Proceedings of the 8th International*

Symposium on Recent Crustal Movements (CRCM'93) Special Issue of Journal of the Geodetic Society of Japan, 19–24.

- Kimata F., Satomura M., Sasaki Y., Murata I. & Fuse K. (1994), GPS Measurements in the Tokai region and Izu Hachijo Island. *Proceedings of the 8th International Symposium on Recent Crustal Movements (CRCM'93) Special Issue of Journal of the Geodetic Society of Japan*, 225–227.
- 木股文昭・宮島力雄・奥田 隆・村田一郎・里村幹夫 (1994), 異なる衛星配置下におけるGPS干渉測位の短期再現性 (その2). *測地学会誌*, **40**, 287–289.
- 里村幹夫 (1995), 東海地方の重力異常. *月刊地球号外*, **6**, 62–68.
- Asanuma T., Hirajhara K., Hirata T., Imanishi M., Iwabuchi T., Li J., Kariya S., Kato T., Kawanaka M., Kikuchi T., Kimata F., Kosuga M., Kurashima E., Kurosawa T., Matsumoto S., Matsushima T., Miyajima R., Miyashita K., Murata I., Nakai H., Nakano T., Nakao S., Ohtsu M., Okuda T., Oware E. N., Saishoji T., Satomura M., Shibata M., Shiota C., Suzuki M., Tabei T., Takada M., Takahashi H., Takahashi T. & Wakasugi T. (1995), First Ito GPS Campaign for crustal movement studies. *Proceedings of the Japanese Symposium on GPS 1994*, 177–179.
- Kawanaka M., Satomura M., Imanishi M., Shimada S., Kimata F., Murata I. & Serizawa H. (1995), Crustal deformation measurements with GPS around the Suruga bay, central Japan (A follow-up report), Analyses with GAMIT software. *Proceedings of the Japanese Symposium on GPS 1994*, 185–191.
- 中野 進・里村幹夫・都築美里・住友則彦 (1995), 静岡県相良町の地殻傾斜連続観測点における比抵抗探査. *京都大学防災研究所年報*, **38**, B-1, 251–264.
- Tanaka T. & Satomura M. (1995), Reconsideration on the isostasy of Mt. Fuji. *Journal of the Geodetic Society of Japan*, **41**, 251–262.
- 木股文昭・里村幹夫・村田一郎・加藤照之 (1995), 駿河湾周辺域における地殻水平歪み—時間的な変化— (1991–1995). *月刊地球号外*, **14**, 42–52.
- Horie S. & Satomura M. (1995), Lake Yogo tectonic basin, negative gravity anomaly, formed by Yanagase Fault movement. *International Project on Paleolimnology and Late Cenozoic Climate, Newsletter*, **9**, 88–94.
- 田中寅夫・中村佳重郎・大谷文夫・木股文昭・大久保修平・里村幹夫・J. カハール・バンバンS・P. コサシ・イルダムA・アグンI・ケトトW・ミピR・ハサヌデン (1996), ジャワ島西部におけるGPSおよび重力測定. *京都大学防災研究所年報*, **39**, B-1, 173–182.
- 李 輝・東 敏博・竹本修三・里村幹夫・中川一郎 (1996), 静岡と御前崎における重力の時間的変化の観測. *測地学会誌*, **42**, 99–110.
- 里村幹夫・小林茂樹, (1997), 東海地方における高さ変動の検出を目的としたGPS観測計画. *千葉大学環境リモートセンシング研究センター共同利用研究会報告集*, **1**, (GPS/MET JAPAN 千葉大学ワークショップ), 35–37.
- Satomura M. (1997), Gravity anomalies of Tectonic Lakes. *International Project on Paleolimnology and Late Cenozoic Climate, Newsletter*, **11**, 154–158.
- Nanjo K., Nagahama H. & Satomura M. (1998), Rates of aftershock decay and the fractal structure of active fault systems. *Tectonophysics*, **287**, 173–186.
- Tsuda T., Heki K., Miyazaki S., Aonashi K., Hirahara K., Nakamura H., Tobita M., Kimata F., Tabei T., Matsushima T., Kimura F., Satomura M., Kato T. & Naito T. (1998), GPS meteorology project of Japan—Exploring frontiers of Geodesy—. *Earth, Planets and Space*, **10**, i–v.

- 里村幹夫・島田誠一・王 慶・内田恭司・錦織牧子・小林茂樹・野村拳一 (1999), 東海地方における GPS 測量の精度向上に対する試み. 月刊地球号外 **14**, 55–58.
- Fujii N., Kobayashi N., Sakurai-Amano T., Okubo S., Satomura M. & Mio A. (1999), Crustal movement imaging by D-InSAR, reflector array, dense GPS, levelling and gravity change in the plate convergent zone, at the Tokai region, central Japan. *Proceedings of International Geoscience and Remote Sensing Symposium 1999 (IGARSS'99) (June 28– July 2, 1999, Hamburg, Germany)*, 797–799.
- Wang Q., Satomura M. & Shimada S. (2000), Improvement of GPS precision by considering horizontal gradient of atmospheric delay. *Proceedings of the 9-th International Symposium on Recent Crustal Movements (CRCM'98), (November 14–19, 1998, Cairo, Egypt)*, 20–30.
- 西村昌明・里村幹夫・島田誠一・内藤勲夫 (2000), 北陸地方における前線通過時の GPS 電波大気遅延変動について. 静岡大学地球科学研究報告, **27**, 37–48.
- Nakaegawa T., Kato T. & Satomura M. (2001), Diurnal variation of GPS precipitable water vapor over Thailand during GAME-T IOP of 1998. *Proceedings 2001 Workshop on GAME-Tropics in Thailand (March 5–7, 2001, the Royal Paradise Hotel Patong Beach, Phuket, Thailand)*, 163–164.
- Satomura M., Fujita M., Kato T., Nakaegawa T., Iwakuni M., Nishikori M. & Nishimura M. (2001), Seasonal change of precipitable water vapor estimated from GPS data in Thailand. *Proceedings 2001 Workshop on GAME-Tropics in Thailand (March 5–7, 2001, the Royal Paradise Hotel Patong Beach, Phuket, Thailand)*, 165–167.
- Nakaegawa T., Kato T. & Satomura M. (2001), Diurnal variation of GPS precipitable water vapor over Thailand during GAME-T IOP of 1998. *Proceedings of the 5-th International Study Conference on GEWEX in Asia and GAME (October 3–5, 2001, Nagoya, Japan)*, **1**, 95–98.
- Satomura M., Fujita M., Kato T., Nakaegawa T. & Terada M. (2001), Seasonal change of precipitable water vapor obtained from GPS data in Thailand. *Proceedings of the 5-th International Study Conference on GEWEX in Asia and GAME (October 3–5, 2001, Nagoya, Japan)*, **1**, 235–239.
- 桜井貴子・佐藤由子・高木幹雄・里村幹夫・小林茂樹・藤井直之 (2002), 地理的特徴を組込んだ DEM の作成とそれを用いてシミュレートした SAR 画像の判読への利用. 写真測量とリモートセンシング, **41**, 27–33.
- 瀬川爾朗・E. J. ジョセフ・楠本成寿・石原丈実・駒澤正夫・長谷川博・関崎征一・高田和典・中山英二・里村幹夫・佐久間貞臣 (2002), ヘリコプター重力測定-開発研究 (1998~2000) のまとめ. 東海大学海洋研究所研究報告, **23**, 1–16.
- 西村昌明・内藤勲夫・岩淵哲也・里村幹夫 (2002), GPS とラジオゾンデから推定される可降水量の相互比較. 静岡大学地球科学研究報告, **29**, 61–75.
- Segawa J., Joseph E. J., Kusumoto S., Ishihara T., Nakayama E. & Satomura M. (2002), Development of the helicopter-mounted gravimeter and the study of the active faults running across the coastal lines over the continental shelves. *Proceedings of 3rd Meeting of the International Gravity and Geoid Commission (August 26–30, 2002, Thessaloniki, Greece)*, 4.
- Satomura M., Fujita M., Kimura F., Nakaegawa T. & Kato T. (2003), Precipitable water vapor variation obtained from GPS data in Thailand. *Proceedings 2002 Workshop on GAME-Tropics and Hydrometeorological Studies in Thailand and Southeast Asia (October 2002 at the Dusit Island Resort Hotel Chiang Rai, Thailand)*, 165–167.

- 西村昌明・岩淵哲也・内藤勲夫・里村幹夫 (2003), GPS 可降水量のラジオゾンデによる再検証. *天気*, **50**, 909–918.
- 堀川真由美・里村幹夫・島田誠一・Kingpaiboon S.・仲江川敏之・加藤照之・沖 大幹 (2004), タイ・Khon Kaen における GPS 可降水量について. *静岡大学地球科学研究報告*, **31**, 33–39.
- Iwakuni M., Kato T., Takiguchi H. Nakaegawa T. & Satomura M. (2004), Crustal deformation in Thailand and tectonics of Indochina peninsula as seen from GPS observations. *Geophysical Research Letters*, **31**, L11612, 4p.
- 橋本 学・Nithiwattthn Chusakul・橋爪道郎・竹本修三・瀧口博士・福田洋一・藤森邦夫・里村幹夫・伍 培明・斉藤 亨・丸山 隆・川村眞文・大塚雄一・加藤照之 (2004), GPS 連続観測によるスマトラ地震の地殻変動. *月刊地球号外* **56**, 38–48.
- Satomura M., Kingpaiboon S., Horikawa M., Nakaegawa T. & Shimada S. (2004), Precipitable water vapor change obtained from GPS data at Khon Kaen in Thailand. *Proceedings 2003 International Symposium on the Climate System of Asian Monsoon and Its Interaction with Society (November 11–13, 2003 at Sofitel Raja Orchid Hotel, Khon Kaen, Thailand)*, 270–271.
- Satomura M., Shimada S., Goto Y. & Nishikori M. (2005), GPS measurements to investigate the reason why GPS is less accurate in mountain areas. *In: Sanso F. (ed.) A Window on the Future of Geodesy*, 44–47, Springer–Verlag, Berlin.
- 里村幹夫・渡辺みのり・大久保修平・楠本成寿・植木真人 (2005), 富士山周辺の精密相対重力測定. *静岡大学地球科学研究報告*, **32**, 25–30.
- Kojima T., Satomura M., Ozawa K. & Waniko (2005), Learning tsunami disasters through the puppet play “The fire of Inamura (Rice Shieves)”, *Proceedings of the International Workshop on the Restoration Program from Giant Earthquakes and Tsunamis—Part 1 of the Memorial Conference on the 2004 Giant Earthquake and Tsunami in the Indian Ocean— (December 14–15, 2005, Zenkyoren Bldg, Tokyo)*, 403–405.
- Kingpaiboon S. Tantanee S. & Satomura M. (2007), Monitoring precipitation from precipitable water vapor (PWV) based on GPS observation. *Proceedings International Conference on Agricultural, Food and Biological Engineering & Post Harvest/Production Technology (21–24 January 2007, Sofitel Raja Orchid Hotel, Khon Kaen, Thailand)*, 5.
- Satomura M., Koyama M. & Ikegaya N. (2008), Education program and preparedness for the earthquake hazards in Shizuoka University. *Proceedings of the International Symposium on the Restoration Program from Giant Earthquakes and Tsunamis (January 22–24, 2008, Royal Phuket City Hotel, Phuket, Thailand)*, 279–282.
- 松村正三・里村幹夫・内海さや香 (2008), 東海地震のアスペリティの推定 (東海地域の地震活動変化と地殻変動: その5). *地震*, 第2輯, **60**, 267–277.
- 橋本 学・片木 武・橋爪道郎・福田洋一・里村幹夫・伍 培明・石井 守・大塚雄一・加藤照之 (2009), GPS 連続観測で得られたスマトラ・アンダマン地震の余効変動とそのテクトニックな意義. *月刊地球*, **31**, 135–142.
- 伊藤広和・新出陽平・田中 穰・荒木春視・藤井陽一郎・里村幹夫・内海さや香・請井和之・島田誠一 (2009), ダイナミック測地座標系管理システム. *先端測量技術*, **100**, 72–77.
- Satomura M. (2009), Educational program on the disaster study in Shizuoka University. *Proceedings of The 3rd Joint International Forum “Regarding Global Environment and International Education in the 21st*

Century” (December 4–6 at Fuji–Tokoha University), 36–38.

- 加治由紀・古橋裕子・松本百合子・元山章子・三谷一美・野上愛里子・里村幹夫・笠原英男・池谷直樹 (2009), 保健管理センターの防災への取り組み第二報—DMAT支援隊静岡の設立に参加して—. *CAMPUS HEALTH*, **46**, 63–68.
- Soonprakhon W., Kingpaiboon S. & Satomura M. (2010), Application of precipitable water vapor by GPS observations for rainfall forecasting. *Proceedings of the 3rd Technology and Innovation for Sustainable Development International Conference (March 4–6, 2010, Nong Khai, Thailand)*, 61–66.
- 里村幹夫・下中恵理・請井和之・島田誠一・加藤照之・伍 培明・橋本 学・Kingpaiboon S.・Thana B. (2010), タイ国内におけるGPS可降水量変化について (2001年—2006年). 静岡大学地球科学研究報告, **37**, 1–11.
- 池谷直樹・里村幹夫・加治由記・笠原英男・大村 純・安田 清 (2012), 災害等への大学としての備え, 対応. *CAMPUS HEALTH*, **49**, 131–135.
- Ikuta R., Satomura M., Fujita A., Shimada S. & Ando M. (2012), A small persistent locked area associated with the 2011 Mw9.0 Tohoku–Oki earthquake, deduced from GPS data. *Journal of Geophysical Research*, **117**, B11408, doi:10.1029/2012JB009335, 25.